

「五感でつづる物語」 体験教室 「物語の樹」 づくり編

<講師：本木洋子さん>

童話作家。絵本『よみがえれ、えりもの森』は「第50回・青少年読書感想文全国コンクール課題図書」に。ラクダに乗って一カ月砂漠を旅したり、モンゴルの草原を馬で駆けたり。タイでは象使いのトレーニングをうけ、アマチュア象使いの資格をとりました。「うごく童話作家」といわれています。

ガラッパどんってどこにいる？ 想像して 創造しよう！

ところ 水俣市公民館2階 第1研修室

とき 8月1日(木) 9～11時

<参加できる人>

水俣市内の小学3～6年生
限定15名

<参加費>

無料

<ないよう>

「そうぞう」してみよう！
ガラッパどんはカッパのこと
キュウリが大すきな水の神さま
地図をみて水俣のガラッパどんを
さがしてみよう！
そして 物語をつくってみよう！

<持ってくるもの>

水筒・タオル
えんぴつ・消しゴム

<申込> 申込書に必要事項を記入のうえ7月5日(金)までに各自学校に提出してください

【お問い合わせ先】 水俣市立図書館 TEL0966(63)8401 FAX0966(84)9119

<< 申 込 書 >>

希望教室	【8/1】創作童話ワークショップ「五感でつづる物語」体験教室～「物語の樹」づくり編～			
氏名		性別		生年月日(学年)
住所			連絡先	

—物語の樹をつくらう！—

ものごと たり いっぽん き
物語は一本の樹。

たね め ものごと たり はじ
種から芽がでて、さあ物語の始まり！

は かあ ものごと たり はってん
葉っぱが顔をだすと、物語はどんどん発展。

みき ものごと ちゅうしん
幹は、物語の中心。

おお き かんせい
大きな樹になって、完成です。

「もし、わたしがキツネだったら……」

「もし、わたしが魚だったら……」

「もし、わたしが500歳のクスノキだったら……」

「もし、わたしが地球だったら……」

どれでもいい、キツネや魚、クスノキ、地球になって

ものごと たり
物語をつづってみよう。

「ふるさとってなに」

井泉小学校 五年 尾上 芽衣

ふるさとって何なんだろう
わたしのふるすとはどこかな
おばあちゃんちかな
学校かな

ふるさとって何だろう
おもひろい所
たのしい所
みどりがいっぱいある所

「ふるさと」
その言葉を聞くと 心がほっとする
だから ふるさとって
心の中にある帰りたいって思う場所だと思ふ

ふるさとのことを
お父さんは 生まれた町
お母さんは この家って言った
わたしは お父さんとおなじ
生まれ育った羽生の町だと思つた

この先 子どもができたら
教えてあげたい
お父さんと お母さんが
わたしにふるさとの事を
教えてくれたように